

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年3月26日

【四半期会計期間】 第19期第3四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

【会社名】 株式会社 シード

【英訳名】 SEED CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岡橋成泰

【本店の所在の場所】 京都市山科区榎辻中在家町8番地1

【電話番号】 (075) 595 - 1311 (代)

【事務連絡者氏名】 管理部グループ長 七海不二男

【最寄りの連絡場所】 京都市山科区榎辻中在家町8番地1

【電話番号】 (075) 595 - 1311 (代)

【事務連絡者氏名】 管理部グループ長 七海不二男

【縦覧に供する場所】 株式会社 大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、平成25年3月26日付で、株式会社三栄建築設計との間で資本業務提携契約を締結いたしました。これに伴い当社は、同社の連結子会社になる予定です。そこで、これを契機に、同社グループにおける会計処理の方針との整合性等を勘案し、当社の会計処理を検討いたしました。

その結果、平成24年2月14日に提出いたしました第19期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）四半期報告書の記載内容のうち、不動産に係るリース取引の判定に当たって、当該判定ルールを株式会社三栄建築設計のグループ方針に合わせるとともに、税効果会計の四半期における会計処理について見直すべき事項がありましたので、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

（1）経営成績の分析

（2）財政状態の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

注記事項

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

（セグメント情報等）

（1株当たり情報）

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第18期 第3四半期 連結累計期間	第19期 第3四半期 連結累計期間	第18期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	2,696,444	3,697,416	4,079,868
経常損失() (千円)	<u>155,711</u>	<u>159,228</u>	<u>231,166</u>
四半期(当期)純損失金額() (千円)	<u>197,549</u>	<u>141,089</u>	<u>276,683</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	<u>197,549</u>	<u>141,089</u>	<u>276,683</u>
純資産額 (千円)	<u>823,871</u>	<u>603,648</u>	<u>744,737</u>
総資産額 (千円)	<u>4,173,373</u>	<u>3,005,278</u>	<u>3,961,535</u>
1株当たり四半期(当期) 純損失金額() (円)	<u>17,359</u>	<u>12,398</u>	<u>24,313</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	<u>19.74</u>	<u>20.09</u>	<u>18.8</u>

回次	第18期 第3四半期 連結会計期間	第19期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	<u>1,240</u>	<u>5,854</u>

~ 注略 ~

(訂正後)

回次	第18期 第3四半期 連結累計期間	第19期 第3四半期 連結累計期間	第18期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	2,696,444	3,697,416	4,079,868
経常損失() (千円)	<u>155,898</u>	<u>159,313</u>	<u>231,399</u>
四半期(当期)純損失金額() (千円)	<u>198,140</u>	<u>141,174</u>	<u>276,916</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	<u>198,140</u>	<u>141,174</u>	<u>276,916</u>
純資産額 (千円)	<u>774,421</u>	<u>554,470</u>	<u>695,644</u>
総資産額 (千円)	<u>4,330,948</u>	<u>3,156,905</u>	<u>4,117,926</u>
1株当たり四半期(当期) 純損失金額() (円)	<u>17,411</u>	<u>12,405</u>	<u>24,333</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	<u>17.9</u>	<u>17.6</u>	<u>16.9</u>

回次	第18期 第3四半期 連結会計期間	第19期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	<u>1,201</u>	<u>3,138</u>

~ 注略 ~

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

(訂正前)

～前略～

このような状況のもとで、業績につきましては売上高は3,697,416千円（前年同四半期は2,696,444千円）、利益面については営業損失134,795千円（前年同四半期は123,168千円）、経常損失159,228千円（前年同四半期は155,711千円）、四半期純損失141,089千円（前年同四半期は197,549千円）となりました。

～中略～

（不動産賃貸管理事業）

不動産賃貸事業につきましては売上高644,117千円（前年同四半期は691,020千円）、セグメント利益58,383千円（前年同四半期は50,592千円）となりました。

(訂正後)

～前略～

このような状況のもとで、業績につきましては売上高は3,697,416千円（前年同四半期は2,696,444千円）、利益面については営業損失131,253千円（前年同四半期は119,625千円）、経常損失159,313千円（前年同四半期は155,898千円）、四半期純損失141,174千円（前年同四半期は198,140千円）となりました。

～中略～

（不動産賃貸管理事業）

不動産賃貸事業につきましては売上高644,117千円（前年同四半期は691,020千円）、セグメント利益61,926千円（前年同四半期は54,134千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて45.9%減少し、1,026,578千円となりました。これは、受取手形が67,317千円増加しましたが、販売用不動産が734,806千円、仕掛販売用不動産が156,162千円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、1,978,699千円となりました。これは、有形固定資産が81,186千円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて24.1%減少し、3,005,278千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.7%減少し、1,275,759千円となりました。これは、短期借入金が150,000千円、1年以内償還予定社債が60,000千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて33.8%減少し、1,125,871千円となりました。これは、社債が325,000千円、長期借入金が175,385千円、預り保証金が69,766千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて25.3%減少し、2,401,630千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて18.9%減少し、603,648千円となりました。これは、利益剰余金が141,089千円減少したことによります。

(訂正後)

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて45.9%減少し、1,026,578千円となりました。これは、受取手形が67,317千円増加しましたが、販売用不動産が734,806千円、仕掛販売用不動産が156,162千円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、2,130,327千円となりました。これは、有形固定資産が85,949千円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて23.3%減少し、3,156,905千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.7%減少し、1,282,120千円となりました。これは、短期借入金が150,000千円、1年以内償還予定社債が60,000千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて30.6%減少し、1,320,314千円となりました。これは、社債が325,000千円、長期借入金が175,385千円、預り保証金が69,766千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて24.0%減少し、2,602,435千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて20.3%減少し、554,470千円となりました。これは、利益剰余金が141,174千円減少したことによります。

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】
(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	587,673	582,325
受取手形・完成工事未収入金等	281,909	310,998
販売用不動産	784,806	50,000
未成工事支出金	15,403	27,657
仕掛販売用不動産	175,284	19,121
繰延税金資産	7,091	4,421
その他	48,088	33,922
貸倒引当金	1,739	1,867
流動資産合計	1,898,517	1,026,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,508,166	1,428,477
その他(純額)	7,199	5,702
土地	333,355	333,355
有形固定資産合計	1,848,721	1,767,535
無形固定資産	5,315	13,298
投資その他の資産		
その他	217,012	207,398
貸倒引当金	8,032	9,532
投資その他の資産合計	208,980	197,866
固定資産合計	2,063,017	1,978,699
資産合計	3,961,535	3,005,278
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	283,613	279,773
短期借入金	500,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	234,117	221,700
1年内償還予定の社債	310,000	250,000
未払法人税等	2,734	1,308
賞与引当金	-	3,290
工事損失引当金	28,973	16,400
その他	155,400	153,286
流動負債合計	1,514,838	1,275,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
社債	450,000	125,000
長期借入金	577,085	401,700
退職給付引当金	26,623	29,392
預り保証金	472,989	403,223
資産除去債務	99,363	100,868
その他	75,897	65,686
固定負債合計	<u>1,701,959</u>	<u>1,125,871</u>
負債合計	<u>3,216,797</u>	<u>2,401,630</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	260,782	260,782
資本剰余金	226,282	226,282
利益剰余金	292,633	151,544
自己株式	34,960	34,960
株主資本合計	<u>744,737</u>	<u>603,648</u>
純資産合計	<u>744,737</u>	<u>603,648</u>
負債純資産合計	<u>3,961,535</u>	<u>3,005,278</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	587,673	582,325
受取手形・完成工事未収入金等	281,909	310,998
販売用不動産	784,806	50,000
未成工事支出金	15,403	27,657
仕掛販売用不動産	175,284	19,121
繰延税金資産	7,091	4,421
その他	48,088	33,922
貸倒引当金	1,739	1,867
流動資産合計	1,898,517	1,026,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,508,166	1,428,477
その他(純額)	7,199	5,702
土地	333,355	333,355
リース資産(純額)	156,390	151,627
有形固定資産合計	2,005,112	1,919,162
無形固定資産	5,315	13,298
投資その他の資産		
その他	217,012	207,398
貸倒引当金	8,032	9,532
投資その他の資産合計	208,980	197,866
固定資産合計	2,219,408	2,130,327
資産合計	4,117,926	3,156,905
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	283,613	279,773
短期借入金	500,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	234,117	221,700
1年内償還予定の社債	310,000	250,000
リース債務	4,415	4,521
未払法人税等	2,734	1,308
賞与引当金	-	3,290
工事損失引当金	28,973	16,400
その他	157,240	155,127
流動負債合計	1,521,094	1,282,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
社債	450,000	125,000
長期借入金	577,085	401,700
リース債務	<u>155,045</u>	<u>151,640</u>
退職給付引当金	26,623	29,392
預り保証金	472,989	403,223
資産除去債務	99,363	100,868
その他	<u>120,080</u>	<u>108,489</u>
固定負債合計	<u>1,901,187</u>	<u>1,320,314</u>
負債合計	<u>3,422,281</u>	<u>2,602,435</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	260,782	260,782
資本剰余金	226,282	226,282
利益剰余金	<u>243,540</u>	<u>102,366</u>
自己株式	34,960	34,960
株主資本合計	<u>695,644</u>	<u>554,470</u>
純資産合計	<u>695,644</u>	<u>554,470</u>
負債純資産合計	<u>4,117,926</u>	<u>3,156,905</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,696,444	3,697,416
売上原価	2,422,105	3,466,982
売上総利益	274,339	230,433
販売費及び一般管理費	397,507	365,229
営業損失()	123,168	134,795
営業外収益		
受取利息	244	127
受取手数料	1,275	1,229
受取保険金	325	151
その他	1,060	1,325
営業外収益合計	2,905	2,834
営業外費用		
支払利息	28,984	20,723
その他	6,463	6,543
営業外費用合計	35,448	27,267
経常損失()	155,711	159,228
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,671	-
固定資産除却損	3,452	-
その他	915	-
特別損失合計	26,039	-
税金等調整前四半期純損失()	181,750	159,228
法人税、住民税及び事業税	1,071	1,071
法人税等還付税額	-	14,648
法人税等調整額	14,727	4,562
法人税等合計	15,798	18,139
少数株主損益調整前四半期純損失()	197,549	141,089
少数株主利益	-	-
四半期純損失()	197,549	141,089

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,696,444	3,697,416
売上原価	<u>2,418,562</u>	<u>3,463,440</u>
売上総利益	<u>277,881</u>	<u>233,975</u>
販売費及び一般管理費	397,507	365,229
営業損失()	<u>119,625</u>	<u>131,253</u>
営業外収益		
受取利息	244	127
受取手数料	1,275	1,229
受取保険金	325	151
その他	1,060	1,325
営業外収益合計	<u>2,905</u>	<u>2,834</u>
営業外費用		
支払利息	<u>32,714</u>	<u>24,350</u>
その他	6,463	6,543
営業外費用合計	<u>39,178</u>	<u>30,894</u>
経常損失()	<u>155,898</u>	<u>159,313</u>
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,671	-
固定資産除却損	3,452	-
その他	915	-
特別損失合計	<u>26,039</u>	<u>-</u>
税金等調整前四半期純損失()	<u>181,937</u>	<u>159,313</u>
法人税、住民税及び事業税	1,071	1,071
法人税等還付税額	-	14,648
法人税等調整額	<u>15,130</u>	<u>4,562</u>
法人税等合計	<u>16,202</u>	<u>18,139</u>
少数株主損益調整前四半期純損失()	<u>198,140</u>	<u>141,174</u>
少数株主利益	-	-
四半期純損失()	<u>198,140</u>	<u>141,174</u>

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	197,549	141,089
四半期包括利益	197,549	141,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,549	141,089
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	198,140	141,174
四半期包括利益	198,140	141,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,140	141,174
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

～前略～

(訂正前)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	105,621千円	85,420千円

(訂正後)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	109,004千円	88,803千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建設事業	不動産事業	不動産 賃貸事業	その他事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	1,864,328	129,754	691,020	11,340	2,696,444	2,696,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,864,328	129,754	691,020	11,340	2,696,444	2,696,444
セグメント利益又は損失()	17,260	6,035	<u>50,592</u>	6,096	<u>33,393</u>	<u>33,393</u>

～注略～

(訂正後)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建設事業	不動産事業	不動産 賃貸事業	その他事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	1,864,328	129,754	691,020	11,340	2,696,444	2,696,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,864,328	129,754	691,020	11,340	2,696,444	2,696,444
セグメント利益又は損失()	17,260	6,035	<u>54,134</u>	6,096	<u>36,935</u>	<u>36,935</u>

～注略～

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(訂正前)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	33,393
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	156,561
棚卸資産の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失()	123,168

～注略～

(訂正後)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	36,935
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	156,561
棚卸資産の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失()	119,625

～注略～

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：千円)

	建設事業	不動産事業	不動産 賃貸事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,082,822	970,476	644,117	3,697,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	2,082,822	970,476	644,117	3,697,416
セグメント利益又は損失()	41,267	19,430	<u>58,383</u>	<u>36,546</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	建設事業	不動産事業	不動産 賃貸事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,082,822	970,476	644,117	3,697,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	2,082,822	970,476	644,117	3,697,416
セグメント利益又は損失()	41,267	19,430	<u>61,926</u>	<u>40,089</u>

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(訂正前)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	36,546
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	171,342
棚卸資産の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失()	134,795

～注略～

(訂正後)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	40,089
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	171,342
棚卸資産の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失()	131,253

～注略～

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額()	17,359円	12,398円
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	197,549	141,089
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	197,549	141,089
普通株式の期中平均株式数(株)	11,380	11,380

~注略~

(訂正後)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額()(円)	17,411円	12,405円
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	198,140	141,174
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	198,140	141,174
普通株式の期中平均株式数(株)	11,380	11,380

~注略~

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 3月26日

株式会社 シード
取締役会 御中

清友監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中野 雄介 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 平岡 彰信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社シードの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社シード及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年2月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。